

日本マナーマイスター学会誌 投稿規定

Japanese Society of Manners Meister

投稿の内容については、日本の伝統文化、礼儀作法、マナーマイスター等に
投稿資格は、特に日本マナーマイスター学会の会員に限らず、制限を設けない。
投稿方法は、ホームページから電子メールでもかまわない。
稿料は支払われない。但し、執筆者には本誌1部が無料で提供される。

投稿の内容：

本誌への投稿原稿は、日本の伝統文化、礼儀作法、マナーマイスター等に関連する諸領域の普及・進展に寄与する学術論文および地域の活動に関する概説等で、他誌に掲載されていないもの、掲載予定でないもの、あるいは投稿中、投稿予定のないものに限る。

原稿：

用紙はA4サイズとし、縦長に置き、上下左右に各2cm以上の余白を設ける。
文字サイズは10～12ポイントの読みやすい大きさで、横書き、行間隔を2行で作成する。

報文の種類：

報文は、論文、研究ノート、調査報告、総説、書評の5種とし、いずれも報文として未発表のものに限る。原稿の表紙に、論文、研究ノート、調査報告、総説、書評などの区別を明記する。ただし、この点に関する最終判断は編集委員会が行う。すべての原稿は、編集委員会が定める審査を経て掲載される。

論文（それ自身で完結したオリジナルな研究報告であること。）

研究ノート（研究上の問題提起、他の著書を批判する論文、外国語論文の紹介・批判などを含む）

調査報告

総説（マナー関連分野のトピックを総説するもの。）

書評（原則的には編集委員会からの依頼に基づくが、投稿総説、調査、書評も歓迎する。）

枚数等：

論文は10ページ程度、研究ノートは4ページ～6ページ、調査報告・総説・書評は委員会が決定する。

題名・執筆者名の記載方法：

原稿の冒頭には、タイトル、著者名、所属を日英両語を入れること。

タイトルは、論文等の内容が明確に分かるようにする。著者名の英語表記は、姓を大文字のみで記すこととする。（例： Taro YAMADA）

執筆者所属機関名を記すこと。（部署名は不要）